

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年 8 月 2 4 日	
		作成部署	山城南土木事務所	
事業名	一般国道 163号	構想番号	構-19-4	
	交通安全施設等整備事業	地区名	相楽郡笠置町切山～笠置地内	
概算事業費	17.2億円	事業期間	平成10年度～平成24年度	
事業概要	延長1,210m、幅員11.0～12.0m、車道2車線、片側歩道整備工事			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	<p>地球温暖化 (CO₂排出量等)</p> <p>地形・地質</p> <p>物質循環 (土砂移動)</p> <p>野生生物</p> <p>・絶滅危惧種</p> <p>生態系</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・現道は幅員が狭く、歩道も未設置のため、車の離合困難による速度低下によりCO₂排出量増加の一因となっていることから、この改善を図る必要がある。</p>	<p>・歩道の設置、車道幅員の拡幅により、交通を円滑化し、CO₂排出量の削減に寄与する。</p>	△
生活環境	<p>水環境・水循環</p> <p>大気環境</p> <p>土壌・地盤環境</p> <p>騒音・振動</p> <p>廃棄物・リサイクル</p> <p>化学物質</p> <p>粉塵</p> <p>電磁波・電波・日照</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・工事に伴い発生する建設副産物について、リサイクル及び再資源化に努める必要がある。</p>	<p>・建設発生土砂について、リサイクルに努める。</p> <p>・アスファルト、コンクリート殻について、再資源化に努める。</p>	△
地域個性・文化環境	<p>景観</p> <p>里山の保全</p> <p>地域の文化資産</p> <p>伝統的行祭事</p> <p>地域住民との協働</p> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・本事業の東側の区間は、史跡及び名勝（名称：笠置山）に指定されているため、土地の大幅な改変による景観への影響を極力避ける必要がある。</p>	<p>・地形改変を最小限とするとともに、擁壁前面及び歩道舗装を美化し、周囲の景観との調和を図る。</p>	△
地域の環境像	<p>本事業の東側の区間は、史跡及び名勝（名称：笠置山）に指定されており、豊かな自然環境や古くからの史跡が地域の観光資源となっているため、地形改変を最小限に抑え、周囲の景観や環境を維持していく必要がある。</p>			
特記事項	なし			